

# 通信建設工事の状況について

平成 30年 10月 9日

情報通信エンジニアリング協会

1. 協会概要
2. 通信建設工事の概要
3. 資格取得状況
4. 通信建設現場の課題

名称：一般社団法人情報通信エンジニアリング協会

所在地：東京都渋谷区猿楽町3番3号

設立：1958年1月17日

目的：本会は、電気通信工事業その他の情報通信に関する設計、工事、運用等のエンジニアリング事業（以下、「情報通信エンジニアリング事業」という）の健全なる発達を図り、国民生活の保安および産業の振興ならびに文化の向上に寄与し、もって公共の福祉を増進することを目的とする。

会員数：通常会員 17社、特別会員 17社

事業：

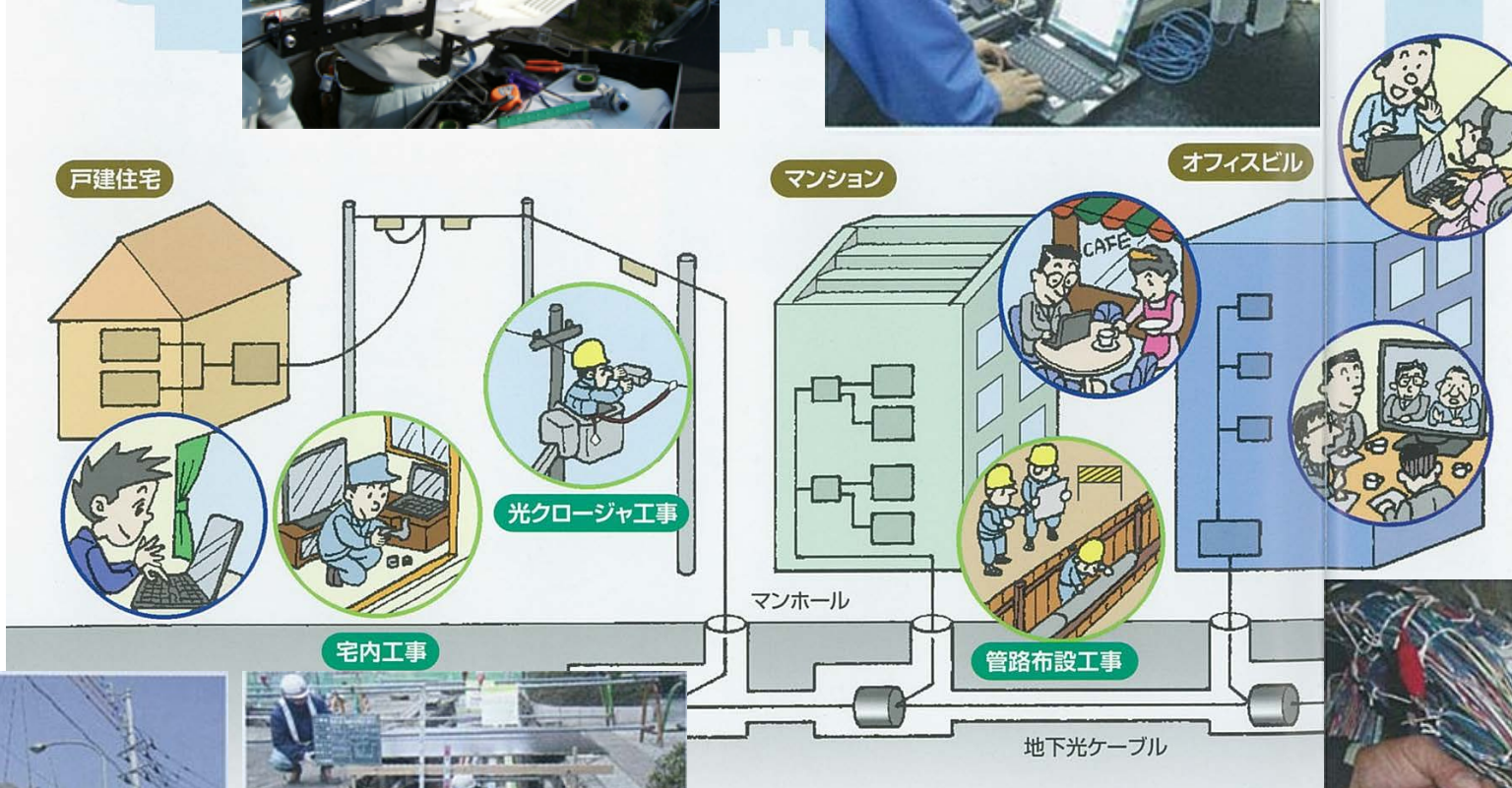
1. 情報通信エンジニアリング事業の効率化に関する研究調査
2. 情報通信エンジニアリング事業の技術に関する調査研究
3. 情報通信エンジニアリング事業の安全と事故防止対策ならびに環境の保全に関する調査研究
4. 情報通信エンジニアリング事業に必要な資材、機材、工異等に関する調査研究
5. 情報通信エンジニアリング事業の従事者の研修
6. 講演会、講習会および見学会の開催
7. 調査研究の発表、普及および指導ならびに雑誌、図書の発行
8. 諸外国の同種団体との技術交流の推進
9. 官公庁その他関係機関に対する要望・意見書の提出、連絡調整
10. その他本会の目的を達成するために必要な事業



光クロージャ接続工事



ビル内配線工事



マンホール設置工事



管路布設工事

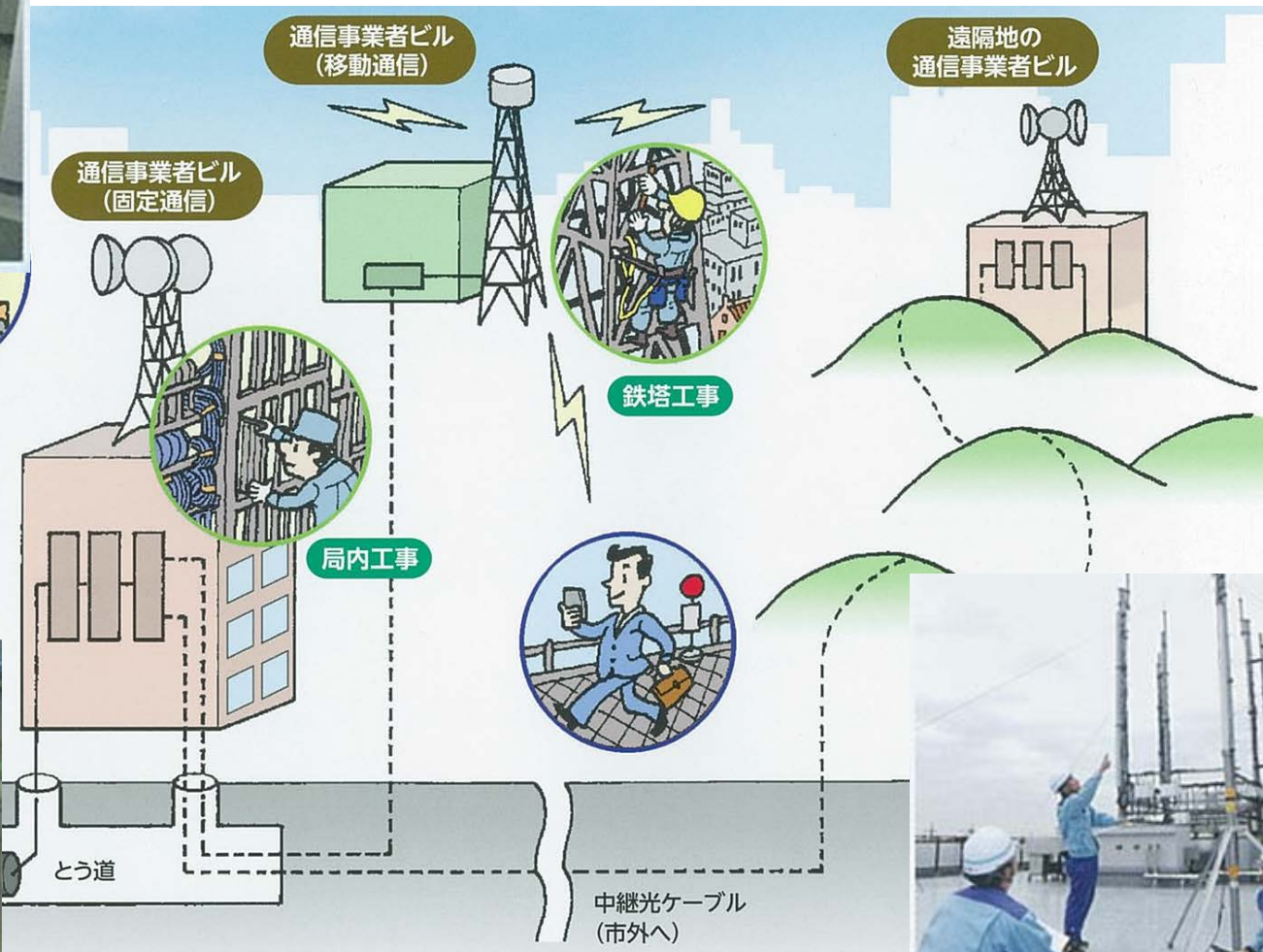


ケーブル接続工事

局内設備設置工事



MDF接続工事



移動体アンテナ設置工事

## 3-1. 資格取得状況(工事担任者資格)

## 3-2. 資格取得状況(電気通信主任技術者)

### 3-3. 資格取得状況(研修支援)



業界横断での技能競技会やコンテストなどにより、現場の技能レベルは十分なレベルを維持できしており、現場技能を競う技能五輪の世界大会では日本代表選手がメダルを取得するほど高い。現場では少子高齢化の進展とともに深刻化する就労者不足への懸念が強まっている。また、安全教育を徹底しているもののゼロにできていない人身事故、人為故障の発生撲滅に向けて取り組んでいるところである。

### 通信建設現場の課題(危機感)

1. 人材不足による採用困難と高齢化による廃業危機
2. 若年就労者の低い定着率
3. 就労者の安全を脅かす人身事故の発生
4. 電気通信設備の安定運用を妨げる人為故障の発生